

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校モビリティアカデミー東北
設置者名	学校法人創匠学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車科	夜・通信	60 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校モビリティアカデミー東北
設置者名	学校法人創匠学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

設置する学校の掲示場に掲載する。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立学校校長	選任後4年以内に 終了する会計 年度のうち最終 のものに関する 定時評議員会終 結時まで	学園運営 学校運営等
非常勤	学校法人役員		学園運営等
非常勤	私立学校教頭（前職）		学校経営等
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校モビリティアカデミー東北
設置者名	学校法人創匠学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・年間の授業計画書に基づき、履修時間計画書を作成する。 ・授業計画書(シラバス)の作成過程 年度当初に策定した時間割を基に、各教科の年間授業計画案を作成する。 また、日々の授業実績を記録し、次年度以降の授業計画作成の参考とする。 ・授業計画書(シラバス)の作成・公表時期 前年度の授業実績を踏まえ、年間目標履修時間に沿って授業計画を立案・決定する。 その後、4月中旬を目途に教務委員会において確認を行い、学校事務に設置のうえ公表する。 	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・成績の通知 各学期末に、成績及び出席状況を記載した成績表を作成し、学生及び保護者に通知する。 ・成績評価の基準・方法 成績評価は、以下の基準及び方法に基づき実施する。 ① 各学期末に実施する定期考査の結果により評価を行い、60点以上を認定基準とする。 ② 学年末に実施する実習授業については、実習項目ごとに評価を行い、評価3以上を認定基準とする。 ③ 成績評価は、5段階による絶対評価(5・4・3・2・1)とし、評価1は単位不認定とする。 ・進級・卒業要件 進級及び卒業の認定にあたっては、以下の要件を満たすこととする。 ① 学科授業及び実習授業の成績が、いずれも評価2以上であること。 ② 各教科の出席率が85%以上であること。 	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科の学科授業及び実習授業において、定期考査の結果に加え、授業内で実施するレポート及び学修意欲等を含む学修成果を総合的に評価する。</p> <p>成績評価は、あらかじめ定めた客観的な評価基準に基づき、5段階評価により判定しており、その基準は学生に対して公表する。</p>	
<p>・5段階評価基準</p> <p>5 85～100点 各教科科目の目標を、特に高い程度で達成しているもの。</p> <p>4 70～84点 各教科科目の目標を、高い程度で達成しているもの。</p> <p>3 60～69点 各教科科目の目標を、おおむね達成しているもの。</p> <p>2 40～59点 各教科科目の目標に対し、達成が不十分なもの。</p> <p>1 39点以下 各教科科目の目標に対し、達成が著しく不十分なもの。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・卒業認定に関する方針の内容及び基準</p> <p>本校では、卒業の認定に関する方針を定め、学生に対して公表する。</p> <p>卒業の認定は、以下のすべての要件を満たした者について行うこととする。</p> <p>① 学科授業及び実習授業を含むすべての授業において、定期考査で規定点（60点以上）を取得すること。</p> <p>② 成績評価が5段階評価における認定評価であること（評価1は不可）。</p> <p>③ すべての授業における出席率が85%以上であること。</p> <p>・卒業認定に関する方針の適切な実施状況</p> <p>卒業の認定にあたっては、教務委員会を組織し、上記の方針及び基準に基づき、組織的かつ適切に審議のうえ決定する。</p> <p>なお、教務委員会は、校長、教頭、教諭及び事務職員をもって構成する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校モビリティアカデミー東北
設置者名	学校法人創匠学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	自動車科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校では、自動車整備に関する専門知識及び技能の修得を目的として、自動車整備に係る学科授業及び実習授業を体系的に編成する。 2年間の教育課程において、学科783時間、実習1,436時間の授業を実施し、年間の授業計画に基づき、段階的かつ計画的に教育を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学科の学科授業及び実習授業において、定期考査の結果に加え、授業内で実施するレポート及び学修意欲等を含む学修成果を総合的に評価し、あらかじめ定めた基準に基づき、5段階評価の成績により判定する。 ・5段階評価基準 5 85～100点 4 70～84点 3 60～69点 2 40～59点 1 39点以下

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業及び進級の認定基準 <p>本校では、卒業及び進級の認定に関する基準を定め、以下のすべての要件を満たした者について、卒業又は進級を認定することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学科授業及び実習授業を含むすべての授業において、定期考査で規定点（60点以上）を取得すること。 ② 成績評価が5段階評価における認定評価であること（評価1は不可）。 ③ すべての授業における出席率が85%以上であること。 <ul style="list-style-type: none"> 卒業及び進級の認定に関する適切な実施状況 <p>卒業及び進級の認定にあたっては、教務委員会を設置し、上記の基準に基づき、組織的かつ適切に審議のうえ決定する。</p> <p>なお、教務委員会は、校長、教頭、教諭及び事務職員をもって構成する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>本校では、学生の学修の継続及び学修成果の向上を目的として、以下の学修支援を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 補習授業の実施 <p>科目別の出席率が85%未満の学生を対象として、補習授業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ② 追試験の実施 <p>病欠等のやむを得ない理由により、定期考査を受験できなかった学生を対象として、追試験を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 再試験の実施 <p>定期考査の結果が5段階評価において評価1（39点以下）となった学生を対象として、再試験を実施する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組)

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車科	200,000 円	500,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>【実施方法】 教育活動及び学校運営の質向上を図るため、開設年度に自己点検・自己評価の項目と手順を整備し、翌年度に学校関係者評価を実施する。評価の主な対象は、教育課程の編成・実施状況、教育内容・方法、進路指導及び就職支援、学生支援、学校運営等とする。 評価は、自己点検結果をもとに学校関係者評価委員会が意見・助言を行う方式とし、校内で改善方針を検討できる仕組みとする。また、自動車整備士養成施設として求められる国土交通省の指定基準（教育内容・教員資格・設備等）に関する外部監督において指摘された事項については、速やかに改善措置を講じ、その内容を学校関係者評価における検討材料として活用し、学校運営の改善に反映する。</p> <p>【体制】 委員会の事務は教務委員会が担当し、自己点検資料の収集・整理、委員会運営、記録管理等を行い、評価の実施を支援する。また、国土交通省による自動車整備士養成施設としての外部監督（教育内容・教員資格・設備等に関する審査・報告）において指摘された事項については、校内で共有し、必要に応じて改善措置を講じるとともに、その内容を学校関係者評価委員会における検討に活用できるよう体制を整える。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、開設年度の翌年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
開設年度の翌年度末までに評価を確実に公表する。		

第三者による学校評価（任意記載事項）

本校は自動車整備士養成施設として、国土交通省が定める「自動車整備士養成施設の指定等の基準」に適合する教育内容・教員資格・設備等を整備し、開設後には同基準に基づく外部監督（教育内容・教員資格・設備等に関する審査および年次報告）を受ける予定である。

これら国の関係行政機関による公的な外部監督は、教育活動の質保証に関する客観的な評価機能を有しており、本校では当該監督結果を第三者的視点による外部評価として適切に活用する。

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）